



おえかきぶっくが園児に寄贈されました

12月17日(火)、久野印刷株式会社(久野 正人社長)から、町内の保育所や認定こども園に「おえかきぶっく」が寄贈されました。久野印刷株式会社は、子どもたちにお絵描きを楽しんでもらおうと、毎年クリスマス前に本町の園児たちに「おえかきぶっく」を寄贈されています。

クリスマス柄が表紙となっている「おえかきぶっく」を受け取った園児たちは、うれしそうにお絵描きを楽しんでいました。



猪股教育長(左)と久野 正人社長(右)



お絵描きをする園児たち

ご寄付をいただきました

12月25日(水)、故・高村 和明さんのご遺族から100万円の寄付をいただきました。この寄付は、「故人の財産を須恵町の子どもたちのICT教育に役立ててもらいたい」というご遺族の思いによるものです。

平松町長は、「故人の遺志を尊重し、町の将来を担う子どもたちのために、有効に活用させていただきたい」と感謝の言葉を伝えました。



須恵町人権擁護委員を委嘱しました

平成31年1月1日から6年間にわたり人権擁護委員を務められた大塚 信夫さん(西原区)に代わり、令和7年1月1日から新たに、高柳 裕美子さん(上須恵区)に人権擁護委員を委嘱しました。

人権擁護委員は、毎月第1木曜日の13時～16時まで、福祉センター相談室で行政・人権・心配ごと相談を行なっています。人権について、困っていることや心配なことがあれば、人権擁護委員にご相談ください。

●須恵町の人権擁護委員

岡本 省二さん	丸山 信幸さん	田中 真由美さん
小南 久代さん	高柳 裕美子さん	



人権擁護委員に委嘱された
高柳 裕美子さん

第4回 日本語教室(在留外国人支援)を開催しました

12月8日(日)、須恵町内の在留外国人を対象に、日本の伝統行事である「餅つき」を体験しながら、日本語でコミュニケーションを図ることを目的とした、日本語教室を開催しました。

地域との協働による学習活動を実施している「コミュニティレンジャー」に所属する須恵高校の生徒も参加し、総勢約40人で楽しく餅つきを行いました。参加した在留外国人は初めての餅つきに興味津々の様子でした。

今後も日本語教室を通じてコミュニケーション力が向上することで、在留外国人と地域の人との交流が進み、より良い関係性が築けることを期待しています。

次回の教室は、2月2日(日)に中学生と交流しながらの卓球体験を予定しています。



参加者の集合写真



餅つきの様子

チアリーダーチームによるエクササイズ・メイク体験が行われました

12月14日(土)、プロバスケットボールチーム ライジングゼファーフクオカの公式チアリーダーRsunZのメンバーが「住宅型有料老人ホーム 紡ぎ館」を訪問し、ストレッチやエクササイズ、メイク体験などを実施しました。

参加した入居者からは「孫と接しているみたいで楽しかった」「きれいにメイクしていただき本当にうれしかった」との喜びの声が聞かれました。



エクササイズの様子



メイク体験の様子

ご寄付をいただきました

12月16日(月)、伊東 映子さんより心温まる寄付をいただきました。

伊東さんは、文化協会フォトクラブの講師として活躍されており、昨年11月には「アフリカ15ヶ国紀行」写真展をアザレアホール須恵で開催されました。

いただいた寄付金は、文化芸術振興のために活用させていただきます。



伊東 映子さん(左)と平松町長(右)